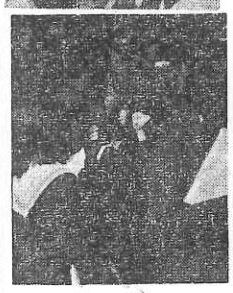
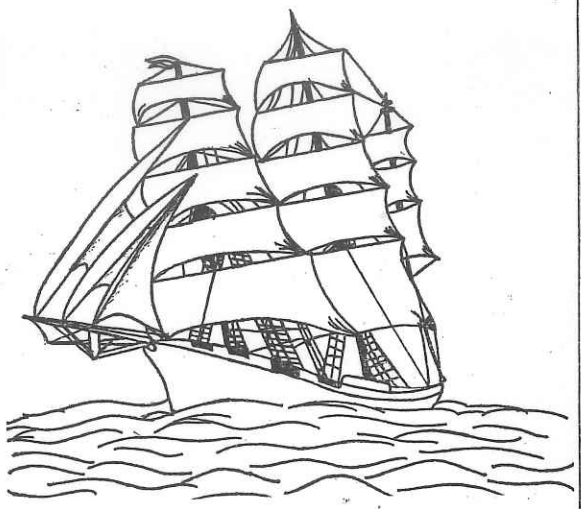
高校 阿倍野新聞

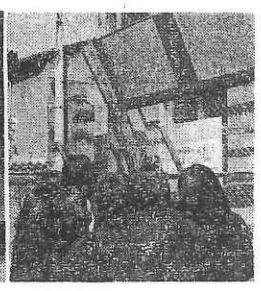
発行所
大阪市阿倍野区阪南町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任　延寿正義
発行責任　東谷壮一郎

君たちの手で素適な新聞を作ってみませんか？
新聞部

祝 入学







気持ちも新たに

教頭・担任紹介

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。〝高校生活〟という名の海への船出にあたり、先生方から御言葉をいただきました。これからの航海は皆さんの努力次第です。精一杯頑張って素晴らしい航海をして下さい。

教頭　中西昭次先生

諸君が普通科の高校に入学した意義を今一度じっくりと考えてもらいたい。それは教育課程の内容が、将来上級の学校に進みそこで専門の知識技能を修める素地となる一般教養に重点をおいて編成されていることなどである。「千里の道も一歩から」という。今の新鮮な向上意欲を日々の学習や課外活動に反映してほしい。三年後に阿倍高生活を振り返ってこの学校に入学してよかったというさわやかな充実感を全員が抱いてくれるよう心から期待している。

一組担任　樋川利雄先生

入学おめでとう。君達の青春をこの阿倍野高校で送れるということは素晴しい人生の一歩だと思います。何事においても自分が行って満足感を味わうのは、それまでの自分の努力苦しみがあっての上のものである。

二組担任　薮田俊信先生

入学おめでとう。自然が新しい生命を燃やし始める時にみんなは心新たに高校生活を始める。新しい友を知り、勉強の楽しさも少しはわかるかも知れない。それ以上に自分というものを知るだろう。そのために一言。

これからの三年間毎日をただなんとなく過さないようにすること。何か一つでもいい、自分のうち込めるものを見つけてとことん耐えぬき頑張ってみてほしい。何事であれ、自ら苦労して初めて自分のものになるのだから。

素晴しい新しい人生の始まりは、苦しいこと、つらいことの連続だろう。私はそのつらさに耐え抜いた三年後の美しく輝いた君達を早く見たい。

三組担任　大林博光先生

長い期間頑張っての合格おめでとう。

シンソコから頑張ってきた人は、それによっても一段と成長したことであろうから、高校でも一層頑張って自分の「器（うつわ）」をより一層大きくしていってほしい。

また、なまけぐせがついて欠席、欠課、遅刻等がふえてきた人は自分の為にも学級の（雰囲気の）為にも頑張って、それらをなくしていくよう努めてほしい。

高校は互いに鍛え合い、高め合っていく為にあるのだ。

四組担任　丸谷一友先生

入学おめでとう！

余り景気のいい言葉は浮かびませんが「青春は美しくもなく、成長の季節でもなく、ただ人生の最前線であるにすぎない」というのを紹介しておきます。苦しみや悩みや迷いの中で生きる人であること、また自分以外の人が同じように苦悩や混迷の中にあることに深い理解を寄せる人であって欲しいと思いますし、また自分もそうありたいと思います。ともに精一杯がんばってゆきましょう。

新学年を迎えて

校長　平田泰世

花からも、食べ物からも季節が消滅してしまったこの頃とはいえ、学校行事にはまだ四季おりおりの趣（おもむき）が残っている。長い猛暑の夏期休暇、伝統行事で明け暮れる冬の休みそして希望七分と不安三分のうちに終わる春休み。

「春はあけぼの」などとのんびりいってはおれぬが、新入生を迎えた春は、校内に清新の気が横溢し、学校生活者にとっては名実ともに一年の始まりである。

四月当初は、クラス、教科書、担任、心構え、印象など、すべて新しいものずくめである。しかし、如何に強い印象も時に経過とともに記憶から薄れるのが常であるが、何らかの支えがあれば、その印象の残存時間は延長されるようだ。その一つに日記がある。自分の過去をたいせつにする意味においても、けだし日記のもつ功績は大きい。フレッシュマンの新入生は、入学式で脳中に去来したことを二年生は残された高校生活の展望を、三年生はあと十か月そこそこしかない高校生活の設計を「日記」にしかとどめるがよい。日記は健康に次ぐ貴重な財産（宝もの）となろう。

その日の授業での先生の脱線やジョークなどは、日記には絶好の素材である。若き日の記録は老後の栄養剤である、と教えてくださった中学校の先生のことばは至言（しげん）である。中学も高校と同じく三年の年限ではあるが、実感としては高校のほうが短いように感じられるのは、毎日の生活がそれだけ多忙な故であろう。その高校時代は生涯でもっとも重要な時期である。卒業式を二月二十五日として計算すれば、長いはずの高校生活も千五十余日に過ぎない。千日そこそこの時間に君の生涯の基礎作りが完了することを、保護者の方がたも知っていただきたい。もちろん個人差はあるが、この期間に体は、体重・身長・胸囲ともほぼ成長しきってしまうし勉強でいえば、生涯を通じもっとも学習効果のあがる時期である。頭は柔軟、記憶力は旺盛、知識吸収力はスポンジのように際限なく大きい。テストのためにではなく君自身のために、ひたむきに勉強すべきだ。勉強と運動を両立させようと意気込む人もいるが、非凡な人以外は所詮、無理なようだ。やはり六時半までには帰宅し、数時間は毎日机に向かい得るよう、自分の日課を自分で厳しくコントロールすべきである。

学校生活者にとって正月にあたるこの日、新入生も上級生とともに、全人間的成長を目ざし過去を美え将来を思いつつ、いうところの「初心」の達成を念じている。

五組担任　今宿純男先生

御入学おめでとう。ところで……

高等学校とはどんな所だろう。そこではどんな教育を受けるのだろう。

また、君達はどんな理由で阿倍野高校を選んだのだろう。どんな目的をもって入学してくるのだろう。

〝初心〟という言葉がある。君達の『入学に際して』という課題作文に、それぞれの〝初心〟が示されている。それを決して忘れないで欲しい。〝初心〟貫徹。最後に担任として君達に望むこと。

○自分に正直であれ
○約束は絶対に守れ
○知識に貪欲であれ
○何事にも積極的である

六組担任　河原林育朗先生

新入生諸君、入学おめでとう。高校入試も無事終えホッとした事と思う。

入学に際して君達に考えてもらいたいのは、小・中学校と高校との違いについてである。

入学という事一つとっても、高校は君達が選び君達の意志で受験し入学するのである。入学以後も小・中学校は例えて言えばエスカレーターであるが、高校は階段である。より上の階へ行こうと思えば自分の足で一歩一歩登る必要がある。登る努力を怠れば上の階へ進めなかったり、へたをすればころげ落ちる。

以上述べた事を含めよく考えて、君達の強い意志と努力で積極的な、悔いのない高校生活を送ってもらいたい。

七組担任　川村誠太郎先生

実り多い高校生活を期待します。行きづまりや失敗を決して人のせいにしないで、まず自分のやり方を反省する。そして不十分な点を改善する。それから、時間をじっくりかけることです。今の世の中、スピード時代でいけません。じっくり考える。虎の巻、絶対見ない。自分の頭で考える。自分の心で感じる。

勉強はもちろん、クラスやクラブや自治会も含めて、この阿倍高生活の全体を、です。お互いがんばりましょう。

八組担任　佐々木美代子先生

日頃の努力が報いられて憧れの高校に入学する事が出来ておめでとう。

高校に入れば、一ぱいやりたい事を夢に描いて来た事と思いますが、一つの目標を達せられて、ほっとする隙もなく又次の階段が待ち伏せている事に気づくでしょう。

精一杯青春をぶっつけてアタックして行きましょう苦しいけれども必ずその向こうには、明るい光を見出す事が出来るでしょう。

〈阿倍野高校小史〉

大正十一年（一九二二）三月設立認可、府立第十一高等女学校として出発、府立阿部野高等女学校と改称戦後阿倍野高校となり共学創立記念日は十一月十一日現校舎と植木のほとんどが創立当時のもので、府立高校に現存する最大の校舎。卒業者数一六〇三八名（内高校一一五四一名）

針小棒大

小学校、中学校と義務教育の課程を修めた新一年生諸君が、最初にぶつかった〝壁〟である高校入試、それは君たちにとっては予想以上に大きく、堅固に見えたのではないか。だが、ついにその〝壁〟は打ち破られた。その瞬間から君たちはもう高校生。阿倍高生としての誇りと自覚を持って行動してもらいたい▼「青春とは何もかもが実験である」とはイギリスの作家スチーブンスンの言葉である高校時代はできるだけ多くの実験、つまり経験を積むべきだ。いつの日か君たちも社会という名の大海原へ船出していく。長い航海中にはさまざまな出来事があろう。隠やかな日が続いたかと思うと暴風雨に悩む日もある。そんな時こそ高校時代の実験の成果が、君たちを順風満帆の航海に導いてくれるのだ▼かといって手当り次第に実験をするのも考えものである。段々と危険な実験に手を伸ばし、ついに自分自身を滅ぼすことにもつながるからだ。その良い例が喫煙や飲酒などに代表される非行である。が、今日、高校生の喫煙や飲酒などはそう珍しいことではない。今となってはこれらも多数の生徒によって実験され尽したということか▼新一年生諸君、高校に入学してから中学校と比べて、違う点に気づいたと思う例えば、高校では中学校に比べてクラブ活動が重視されている。それはクラブ活動が人間形成に大きな役割を果すとされているからだ。確かにクラブというものは手近にある実験材料としては最適である。ただ、長期にわたるので三日坊主というわけにはいかないが…▼阿倍高の中にも他に実験材料となるものは豊富にある。だが、それを見極める眼を持つことが大切だ。素晴しい実験の成果があがることを期待する。

多忙な学生生活

阿倍野高校紹介

苦しかった受験の波を乗り越え、みなさんは阿倍野高校の生徒となりました。高校生活にさまざまな夢を描いている人も多いことでしょう。ここではその背景ともなるべき我が阿倍高について、少し紹介しておきます。

自治会組織

阿倍高に入学した今日から、君たちは自治会の会員である。中学校では〝生徒会〟などと呼ばれていたものが高校では〝自治会〟にあたる訳だが、ここでそのしくみについての概略を説明していこう。

執行部は自治会活動の中枢というべき存在で、自治会の行政執行を担当している。役員は、会長・副会長・書記・会計各一名と、各学年から選出される学年代表男女各一名である。しかし、現在阿倍高には執行部が存在していない。先日行なわれるはずであった第二期自治会役員選挙では、立候補者の締め切りを何度も延期したにもかかわらず、ついに立候補者はなく執行部不成立になってしまった。そのため部会代行制が行なわれることが内定した。これは執行部の代わりに議会の諮問機関である各部会（後に述べる）が行政執行をすることである。（例えば運動部会ならば、自治会の運動関係の仕事を執行部に代わって行う）

議会は自治会の最高決議機関であり、二週間に一回の定例議会を開く。議員は各学級ごとに男女一名ずつ選出される。すべての役員の任期は第一期（七月から二月まで）・第二期（三月から六月まで）の二期制であるので、自治会役員の立候補者があれば、議会は各期末にあたり選挙管理委員会を結成する。同委員会は選挙に関する一切の事務を行なう。

部会には文化・運動・集会・風紀・会計の五つがあり、会長・書記以外の自治会役員一名と議会の部会配属者、そして委員会（各学級のほとんどの委員でできている）からの数名で構成されている。各部会の主な仕事をあげてみよう。

文化…文化面においての向上を図り、文化祭の計画、運営を担当する。文化系クラブがこれに属している。

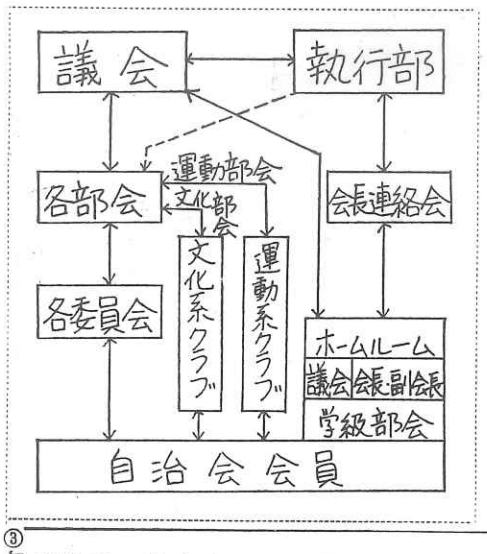
運動…クラスマッチ、体育大会など、自治会体育関係の行事を計画準備・運営する。運動系クラブがこれに属している。

集会…文化祭のアーチ製作などをする。昨年はファイヤーストームを主催した。

風紀…制服問題・自転車通学・飲酒・喫煙などの風紀に関する諸問題を管理する。

会計…年度予算をたて、クラブ活動、文化祭、体育大会などが充分行なえるように金銭面を調節する。

また、その他の機関として会長連絡会（執行部と自治会会員をつなぎ、学年としての意見をまとめる）や学級部会（校内の問題点についてクラスの意見をまとめる）などがあり、学校生活の活発化を図っている。



教育課程

高校は中学校とは違い、出席日数さえ足りていれば進級させてもらえるという甘いところではない。高校では色々と細かく教育課程が決められており、卒業や進級についても規定があるここでは、新入生に注意してもらいたい点をいくつか説明してみよう。

①単位制度

単位とは、わかりやすく言えば、週一時間の教科一科目を一年間修めることで、例えば一週間に数学が六時間で一年間修めると六単位となる。単位を得るには、定期考査出席日数などが重視され提出物・宿題なども考慮される。

②考査

定期考査は中学校と同じで年五回ある。一・二学期には中間、期末考査の二回、三学期には学年末考査がある。これらは日頃の授業の理解度を試すもので、単位収得に際してはこれが重視される一、二学期考査終了後は通知表に素点・クラス席次が記入され、学年末考査後には科目別評価が五段階で示される。

また実力考査は各休暇明けに行なわれ、これで学年席次が決まり結果が手渡される。

③欠点

欠点とは、それ以下の点数では充分理解できていないと判断したボーダーラインである。このとき、通知表には赤色で記入される。阿倍高では大体四〇点以下が欠点とみなされている。

欠点をとると、科目によっては、課題・補習を行なうこともある。

④原級留置（留年）

留年とは単位不足のために進級・卒業できないことである。その主な理由は、

(i)出席日数が授業日数の三分の二に満たないとき。

(ii)年間を通じて教科・科目の最低ラインをも達成し得ていなく、単位が認められない（単位不認定）とき。

などがある。しかし、(ii)の場合などでは、教科によってはレポートの提出などで進級・卒業できることもある。

以上四項目が阿倍高の主な教育課程である。我が校の生徒として大切なことであるからよく理解しておいてもらいたい。

これから色々なことを学ぶ新入生に一言。

高校はあくまでも自分の意志で入学したのだから、積極的に知識を吸収すべき所である。それゆえ勉強も内容が一層深くなり一朝一夕に理解できるものではなくなっている。だが、授業の予習・復習を毎日やっておけば、まず心配はない。確かに毎日努力することはたいへんだが、高校ではそうすることが大切なのである。

クラブ活動

君達の中にはクラブに入部しようと考えている人も多いだろう。

我が校には自主参加の自治会クラブと週一回授業として行なわれる必修クラブがある。ここでは、自治会クラブの方をもう少し詳しく説明しよう。

現在、自治会クラブとしておかれているものを挙げてみると、文化系では映画研究・演劇・軽音フォーク・軽音エレキ・音楽・華道・写真・生物・地理研究・美術・洋舞・書道・ブラスバンド・放送・アマチュア無線・文学・新聞・茶道・琴運動系では剣道・硬式庭球・軟式庭球・サッカー・登山・柔道・男子バスケット・女子バスケット・男子バレー・女子バレー・水泳・体操・卓球・ラグビー・ハンドボール・陸上・ワンダーフォーゲル・野球・空手道がある。（順不同）

もし、自分の希望しているクラブがない場合は、自分達で創設することもできる。それには二ケ月間同好会として活動する。（同好会とは活動可能な同好者数と顧問の先生一名以上を有し、執行委員会に届け出、議会での承認、職員会議の了承を得たグループ）その上で執行委員会に届け出をし議会での承認と職員会議の了承を得ると新しいクラブの誕生となる。

高校のクラブは中学校より活動が幅広くなる。大会や試合、コンクールなど他校との交流や競い合うことも盛んだ。

このようなクラブ活動が君たちの学生生活に大きな影響を与えることも多いだろう。これからクラブを決める君、自分に適し絶対に三年間続けられるクラブを選ぼう。

来たれ新聞部

新入生のみなさん、阿倍高へようこそ!!これから三年間阿倍高に関する確かでホットな情報をみなさんにお伝えする新聞部です。新聞部はどんなクラブかと言うと――名前から考えるとなんとなく難しそうだけど実際ははしゃぐことが好きな楽しいクラブなんです。と言っても仕事はきっちり(?)やってますよ。

ここで我がクラブの仕事つまり新聞がみなさんに届くまでの過程を説明してみましょう。まず企画会議を開き、掲載する記事とその担当者を決めます。そして各面の割り付け（レイアウト）をします。担当者は取材に行った上で原稿を書き推敲を重ねていきます。原稿ができたら入稿（印刷所へ原稿を届ける）し、校正（原稿とゲラ刷りとつきあわせて文字などの誤りを正す）を繰り返します。校正の完了した物を印刷し、みなさんに届けるのです。その後反省会を開きます。各記事について悪い点を指摘し合い、今後の新聞作りの参考にするのです。これで一回分の新聞発行が完了という訳です。でき上った時の気分はもう最高!!仕事をやり遂げたという満足感は何とも言えません。この後しばらくは、雑談やトランプをする楽しいひと時ですこの時こそが私たちの本来の姿かもしれませんね。

新聞部の自慢話を書かせてもらうと、まず広い部室があること。それから友達も増えますよ。学習面に役立つこともあります。文章力もつくし、多くの言葉や漢字も知ることができます

とにかく仕事に追われる毎日だけど、楽しく充実した生活を送れると思います部員数は二年生九名、三年生二名でがんばってます。こんな愉快な新聞部に入部しませんか?いえ、見学だけでもいいですから南舎二階の新聞部部室までのぞきに来て下さい。心からお待ちしています。

天高 vs 阿倍高

打ち解けた雰囲気

去る三月七日（土）に大阪府立天王寺高校の新聞部部員（〝天〟と略す）が、我が阿倍高新聞部を訪れた以下が新聞部部員（〝阿〟と略す）との対談である。

＜制服について＞

阿　天高と言えば、阿倍高と違って私服ですが、その点についてどう思いますか

天　制服でも私服でも大差はありませんよ。

阿　朝、着て行く服に迷うということは?

天　他の学校はどうか知りませんが、うちはどう?

天　私は夜に用意しておく朝は時間がないから。

天　私は夜に用意しないから、三日間位同じ格好してるわ。（笑）やっぱり制服の方がいいと思う時もあるね。

＜アルバイトについて＞

阿　天高生は、アルバイトなんかしてるんですか?

天　みんな学校に内緒でやっているみたいです。

阿　禁止されてるの?

天　いえ、そうではなく許可制になっていて、学校側に届ければかまいません。

天　でも、誰もそんなん届けてないなぁ、

天　もし届けても、アルバイトの収入を何のために使うかとか、いろいろ聞かれるからね。

＜学校行事について＞

天　文化祭はどうでしたか

阿　ええ、まずまずという所でしょうか。一部に不参加もありましたが。

天　うちの学校では、もうずっと行事に追い回されているようなもので、四月から一年間ぎっしり予定が詰まってます。まぁ、行事のために学校へ行くようなものです。

阿　どんな行事があるんですか?

天　文化祭と文化展示会というのが分かれてあって、あとは運動会、水泳大会、長距離走、他にもまだまだありますよ。

阿　なるほど。

天　他の学校にあって、うちにない行事なんて多分ないでしょうね。うちだけ!というのはいくらでもあると思いますが。

＜クラブ活動について＞

天　クラブ活動は活発ですか?

阿　文化クラブは不活発と言われていますが、全体的には普通と言えるんじゃないでしょうか。

天　そうですか。天高は活発だと言われてる様です。文化クラブはそれでもパッとしないみたいです。

阿　文化クラブで何か変わったものはありますか?

天　うーん〝演劇部や美術部の他には社会科学研究部や地理研究部、数学研究部や英語研究部など、研究部が多いようです。

阿　ところで、皆さんに聞きたいんですが、クラブと勉強の両立はうまくいってますか?

阿　うちのクラブで以前問題になりましてね、文化祭の新聞でも部説に取り上げたんですが……。

天　勉強で頑張る者は勉強で、クラブで頑張る者はクラブで、一生懸命やってるという感じですが。

阿　つまりどちらかに専念してるわけですね。

＜執行部について＞

阿　現在、恥ずかしながら阿倍高には執行部がないんです。つまり立候補者がいないわけなんですが。

天　じゃあ〝押し出し〟とかは?

阿　何ですか?それ。

天　各クラブから一人ずつ出せっていうヤツです。

阿　へえー。そんなのがあるんですか。

天　立候補者がなかったらクラブ活動は中止になるんじゃないの?

阿　本当は執行部がなかったら中止です。毎年こういうことがあっても、最終的には執行部はなんとかできるんですが、今年はどうも異例でね……。

天　うちの学校は、「何が何でもクラブ活動は中止にさせる!」と立候補者を出さなければしかたがないという状態に追いこんで、どうにかそろいますけど。

阿　どこも同じですか。困ったことですねえ。

これらは約二時間にわたる対談を、かいつまんだものである。しばらくはどちらも緊張していたが、次第に打ち解けた雰囲気になり話にも熱がこもってきた。今まで天高というと、〝進学校〟とか〝ガリ勉の集まり〟とかいうイメージが無きにしも有らずだったが、この対談によってそういうイメージは吹き飛ばされ、たいへん親近感を覚えた。

編集後記

新入生に新聞部からこれらの言葉を贈ります。

カモにしょわれたネギ

今、あなたが手にしているこの新聞、みんな私たちが作ったんです。あなたもおもしろくて明るい、このクラブへ。

おニューのYMOどすえ

入学おめでとうございます。さっそくですが中学の時、運動部に入っていた人も新聞部にはいってみて下さい。おもしろいですよ!

ペパーミント・パティ

私もあなたも阿倍高生。楽しくないようでも楽しい学校です。あなたの努力しだいでもっと楽しくなるはず……。がんばってネ。

パッパラドラ子

はじめまして!やっと来たネ、一年生くん。楽しさ半分苦しさ半分の三年間。お互いにがんばりやしょうネ。

脂肪を持ったカモ

高校入試を終えて、晴れて阿倍校生になったみなさん、心からお祝い申し上げます。これから三年間、精一杯がんばって下さい。

君臣豊楽

地球が自転しているということを教わった子供のいわく――「雲の動きからすると、今日の地球はだいぶ速く回ってるぞ」

運動神経マイナス無限大

今、みんなは長距離マラソンのスタートを切ったばかり。途中で転ぶこともあるだろうが、常にゴールをめざす姿勢は忘れずに。

米豆尾著々

しつこいようですが、御入学おめでとうございますクラブを一生懸命頑張るのは良いですが、留年だけはしないように……。

愛LOVE優

Welcome to 阿倍高!

優しい（?）先生と楽しい（?!）先輩、ばっちい（!）校舎に囲まれてスタートの高校生活。良い三年間となります様に。

きみたちも是非、新聞部へ!